記者発表資料

平成２９年　７月１１日
山形河川国道事務所

小・中学生と一緒に川に棲む生き物から最上川の水質を調べます！

～水生生物を指標とした河川水質の簡易調査等の実施～

山形河川国道事務所では、最上川上流の水質を概観するとともに、調査を通じて水質保全の必要性や河川愛護の重要性に対する認識や関心を高めてもらうため、地元の小学生、中学生と一緒に身近な最上川の水生生物調査等を実施します。

※川の中には様々な生き物が棲んでいますが、特に川底に棲んでいる生き物は、水質の状況を表す一つの指標としてとらえられており、どのような生き物が棲んでいるかを調べることによって、その地点の水質の程度を簡易的に知ることができます。

１．実施予定





①平成２９年７月１３日（木）　9:50頃～２時間程度
場　所：長井市小出 地内
（長井橋上流左岸河川敷）
参加者：長井市立平野小学校（20名）

②平成２９年７月２１日（金）　9:45頃～２時間程度
場　所：寒河江市大字島 地内
（長崎鉄道橋下流左岸河川敷）
参加者：中山町立中山中学校（４名）

③平成２９年７月３１日（月）　9:40頃～２時間程度
場　所：白鷹町大字広野 地内
（睦橋下流右岸河川敷）
参加者：長井市致芳地区公民館、
長井市立致芳小学校（35名）

２．その他
・随時取材可能です。
・天候不良や河川の状況により中止する可能性がありますので、事前に下記問い合わせ先に連絡をお願いします。

〈発表記者会：山形県政記者クラブ〉

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省

国土交通省　東北地方整備局　山形河川国道事務所
〒990 － 9580　山形市成沢西四丁目３番５５号
ＴＥＬ　０２３（６８８）８４２１（代表）
副所長（河川担当）　水越（みずこし）　崇（たかし）　（内線２０４）
河川管理課長　土田（つちだ）　昭夫（あきお）　（内線３３１）

忘れない、水害への備え　～ 羽越水害から５０年 ～

【位置図】

①平成29年 7月13日（木） 長井橋上流左岸河川敷



②平成29年7月21日（金） 長崎鉄道橋下流左岸河川敷



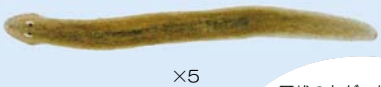
③平成29年 7月31日（月） 睦橋下流右岸河川敷



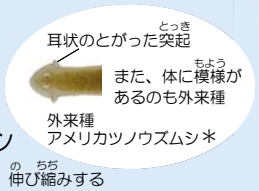
川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

Ⅰ きれいな水

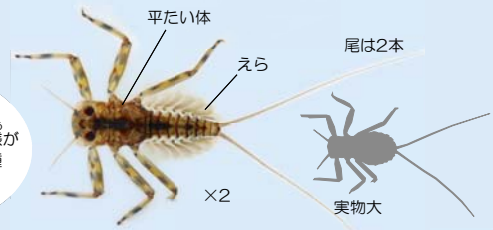






ナミウズムシ

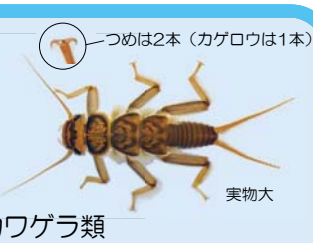
石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている





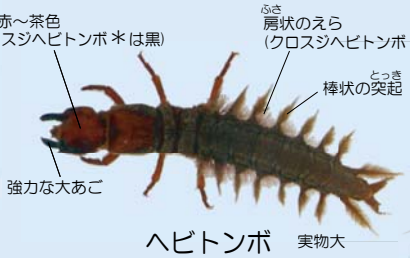
カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがいるが、
同じ種類である



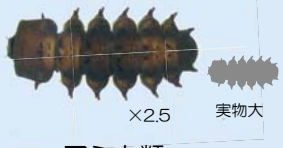
ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものをおそう



ブユ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある



アミカ類

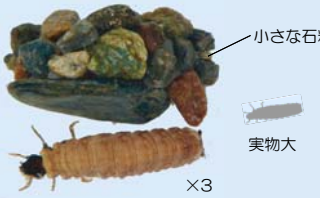
腹面に吸盤があり、急流の岩や石に
はりついている





ナガレトビケラ類

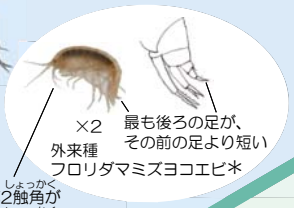
流れの速いところにいる



ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い





ヨコエビ類

上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

Ⅰ，Ⅱ両方でみられる水生生物（指標種ではない）



チラカゲロウ

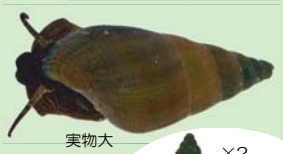
流れのやや速いところにいる

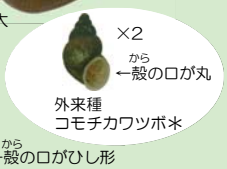


ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色

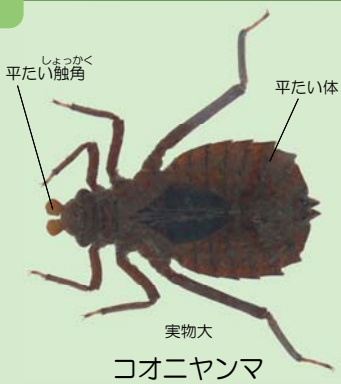
Ⅱ ややきれいな水





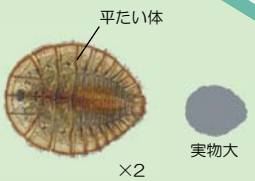
カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカワツボ＊は数mmと小型



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドロムシ類

石の表面にはりついている



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ
の石面にいる



コガタシマトビケラ類

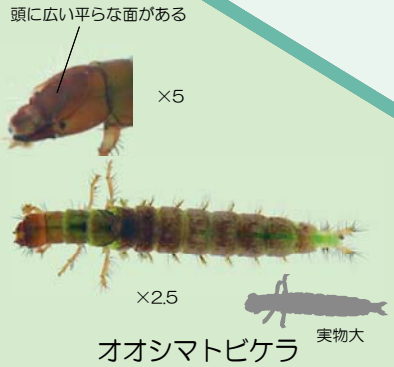
頭部の前縁に浅い凹みがある



ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする



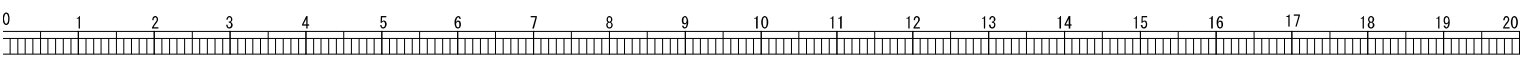


オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

平成23年度版



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



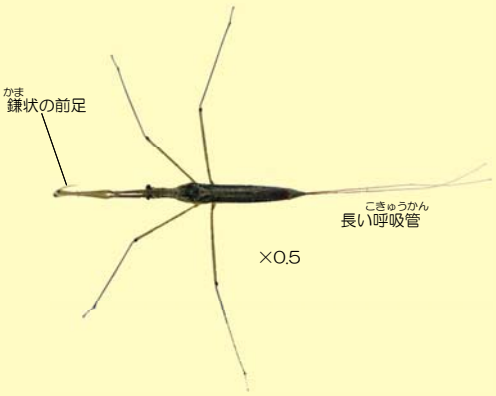
シマイシビル

背中に縦縞模様がある
伸びたり縮んだりする
尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある
流れのゆるやかなところにいる



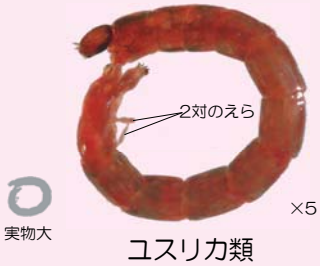
サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き
流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対（4本）または1対（2本）のひも状のえらがある
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分（キチン板）がある

汽水域（海水が混じっているところ）

Ⅱ ややきれいな水





イシマキガイ

石や護岸にはりついている
淡水域にいることもある



ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる
淡水域にはマシジミ＊や外来種のタイワンシジミ＊がいる

Ⅲ きたない水





イソコツブムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる



ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

